



医療現場の実態と介護のこれからを学ぶ

鬼北の医療と介護の未来を考えるシンポジウムは2月19日、近永公民館で行われ、訪れた約200人の参加者は、自分たちのおかれている現状について真剣に考えていました。

シンポジウムでは、特別養護老人ホーム芦花ホーム＝東京都＝常勤医師の石飛幸三さん(写真上)が「平穏死を考える」と題し、自身の体験などを交え講演。

その他、藤井千穂旭川荘愛媛支部長、岡部健一町立北宇和病院院長による報告や提言、町内介護福祉関係者らによる討論も行われました。

音楽を楽しむ集い“ホワイトコンサート”ダンスと音楽で観客魅了

音楽を楽しむ集い「ホワイトコンサート」は2月19日、日吉住民センターで行われました。

午6時から始まったコンサートでは、4団体が洗練されたダンスやバンド演奏を披露。また、バイキング料理やワインなども振る舞われ、集まった観客らは、楽しい時間を過ごしました。

町内の有志で結成するバンド「ザ・スペルマンズ」の中には、今年から楽器の練習を始めたメンバーもいるなど、苦労したエピソードを語っていました。



みんな、来年からよろしくね

近永、さくら、両保育所合同のサッカー教室は2月15日、さくら保育所園庭で行われ、来年度から同じ小学校で一緒に学ぶ両園の年長児たちが、サッカーを通じて触れ合いました。

快晴の下行われた教室では、新倉昇さん(近永)と松浦一彦さん(奈良)をコーチに、ウォーミングアップからスタート。チームに分かれて挑戦した試合では、園児たちは無心にボールを追いかけたり、必死に応援したりするなど、保育所の枠を越えて楽しく交流していました。